

令和6年12月26日（木曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（経済観光）

議会会議室

出席議員

竹中由佳、中西祥子、阿山正人、八木隆次郎、
石見和之、杉本博昭、嶋谷秀樹

出席高校生

賢明女子学院高等学校6人、姫路東高等学校3人

開会

9時58分

委員長挨拶

9時58分

出席者紹介

9時59分

意見交換

10時02分

○ テーマ

・観光戦略の見直し

「発想の転換を。観光客を呼び込むには」

（委員長）

両校から資料に基づき、本テーマに関する提案をしたいとの申出を受けているので、説明を受けることとする。

（高校生）

【賢明女子学院高等学校が資料に基づき説明】

【姫路東高等学校が資料に基づき説明】

（委員長）

賢明女子学院高等学校からは観光客をどう呼び込み、どう巻き込んで、いかに滞在時間を増やしてもらうかという視点からの提案であった。

姫路東高等学校からは、災害が発生しても外国人観光客が安全・安心できるよう防災の観点からの提案であった。質問や感想を含めて意見はあるか。

（委員）

賢明女子学院高等学校からは、本市の祭りやイベントの案内が不足しているのではないかとの意見であったが同感だ。私は祭りが盛んな地域に住んでいるが、観光で祭りを見に来てくれたらうれしい。

また、廃校利用について、淡路市には廃校をリノベーションし、レストランや小さな動物園の入った「のじまスコーラ」という施設があり、非常に参考になると思う。

姫路東高等学校からの防災の視点から観光を考えるということは、今まで考えたこともなかつたので、すごいと思う。

両校方とも大変示唆に富んだプレゼンテーションであったと思う。

（委員）

賢明女子学院高等学校の提案について、データを基によく考えていると思う。特に姫路おでんに着目した提案は面白いが、姫路おでんコンテストについては、どのような内容を発信すれば観光客に来てもらえるのか何か考えがあれば教えてほしい。

姫路東高等学校の提案について、「寛延の大洪水」は初耳であったが、現在ではある程度精度の高い予想ができるようになっている。多言語対応も含めて、皆さんの柔らかい発想力で防災や減災対策についても何か考えがあれば教えてほしい。

（高校生）

今の時代はSNSが主流になっている。ティックトックで、姫路おでん祭りのライブ配信をしてみてはどうかと思う。

（高校生）

姫路おでんのマスコットキャラクターを作成してはどうか。SNSでは「ちいたん」というおもしろい動画投稿があるが、あのような感じがいいと思う。親しみやすいものであれば海外にも広がると思う。

（委員長）

「ちいたん」のようなキャラクターで、熱々おでんを食べてのリアクションは面白いかもしれない。

昨日も本日と同じテーマで座談会を開催したが、若い世代はティックトックを使うという意見であった。本日もティックトックという意見があったので、世代ごとによく利用するSNSに着目することが非常に重要であると感じた。

（高校生）

姫路市の公式ホームページは英語表記ができるが、姫路防災Webでは日本語表記しかない。これでは情報を探し理解できる人が少ないので同Webの多言語化を最優先で整備すべきだと思う。また、そのような情報があることを広く周知するため、パンフレットなどにも掲載すべきだと思う。

（議員）

15年ほど前にB-1グランプリがはやり、本市でも開催されたが、すごく盛り上がった。姫路おでんだけではなく、姫路の特産品に少しアレンジを加えたものを

発信してはどうかと思うが、何か考えがあれば教えてほしい。

廃校利用の提案であるが、先ほど「のじまスコーラ」の紹介があったが、グランピング施設やキャンプ場を整備しているところもある。

本市でも市立3高校だけでなく、今後は小中学校の統廃合も検討していくことになると思われるの、廃校利用という発想は必要となってくる。また、本市でも地域によって少しずつ風習が異なるので、そのような点に着目してみると面白い考えが浮かんでくるかもしれない。

姫路城を避難所とすることは、姫路城が文化財であることから難しいと思うが、移転の決まっている姫路東消防署のほか、イーグレひめじやアクリエひめじなど、姫路城周辺の目立つ施設を避難所として活用していくことを議会としても提案すべきであると感じた。

観光客が災害に遭った際、姫路城以外でどのような場所を活用すべきか意見があれば教えてほしい。

(高校生)

避難所指定となっているのは、例えば公民館だと思うが、姫路城から離れた場所にあり、観光客にとって分かりづらい。イーグレひめじが1番目立つと思う。

(高校生)

仮に公民館に避難するとしても、避難所までの案内板などがあれば、観光客も安心して避難することができると思う。そのような案内板の設置も大事だと思う。

(委員)

姫路東高等学校を避難所として活用できると思うか。

(高校生)

できると思う。

(委員)

姫路東高等学校は姫路城からも近い。ぜひ、学校でも何ができるか議論してほしいと思う。

(高校生)

地元住民は土地勘があるので、公民館や学校に避難できるが、外国人観光客は災害警報や避難指示が日本語で放送されると理解できないし、パニックにもなっていると思うのでどこにも避難できない。そのため、まずは声掛けが必要だと思う。施設の前にそのような誘導者を配置してはどうか。英語が基本であるが、中

国語なども必要だと思う
(委員長)

イーグレひめじや学校など、観光客にとって分かりやすい場所を避難所とすることや、多言語対応による誘導なども議会で訴えていきたいと思う。

新しいイベント開催や廃校利用に関して意見があれば聞きたい。

(高校生)

姫路おでんは、ショウガじょうゆで食べるのが一番だと思うし、もっと多くの人に知ってもらいたい。ほかの食べ物についても、ショウガじょうゆを使った料理コンテストを開催してはどうかと思う。

(高校生)

餅とかおいしそうだ。

(高校生)

中華もいいと思う。シューマイに合いそうだ。

(委員)

ぜひ試してみてティックトックで投稿してほしい。

(委員)

ユーチューブの「やってみたシリーズ」のように投稿してはどうか。姫路の観光に行ってみたとかのシリーズだと反響が大きいかもしれない。

(委員長)

昨日の座談会でも「しろまるひめ」がいろいろなところに行って、やってみてはどうかという意見があった。

(委員長)

廃校利用について何か意見はないか。

(高校生)

私は学校給食の提供がいいと思う。その学校で提供されていた給食を観光客に食べてほしいと思う。

(委員)

海外のテレビ番組で、日本は災害発生時の食料配給の際もきちんと並んでいるのは、学校給食の配膳などから訓練ができているからだという紹介があった。また、外国人にとって、子どもたちが学校の掃除をするのもびっくりすることらしい。実際、学校に来て、日本の学校を知ってもらうというのもいいかと思う。

(委員長)

日本の文化体験もいいと思う。

(委員)

日本型教育のいいところだと思う。

(高校生)

私たちの学校給食で姫路おでんが出るようにしてもらい、その学校給食を外国人が実食できればいいと思う。

(委員長)

本市の名物と日本の学校の文化体験を掛け合わせるいい意見だと思う。

(委員)

まずは学校に提案して、そこから入れば面白いと思う。

(委員)

学校給食を食べているところを投稿するなど、皆さんにP Rしてもらえたと思う。

(委員)

ティックトックとインスタグラムはどのように使い分けているのか。

(高校生)

ティックトックは動画投稿が多い。画面をスライドするとしたら自分の好きなものが流れてくる。インスタグラムは自分から発信することが多いと思う。また、動画投稿より写真投稿が多いと思う。

(高校生)

廃校利用についてであるが、空き教室がたくさんあるのでいろいろなテナントを入れて、宿泊ができるようにするといいと思う。多言語対応もできるようにしておけば、外国人観光客の利便性もよくなると思う。

(委員)

廃校を宿泊施設として活用しているところも実際にある。学校の洗面台や椅子も当時のままのものをそのまま使っているとも聞いている。

(委員長)

京都で廃校をホテルにしたり、レストランにしたりという事例があったと思う。本市ではまだそのような取組はないが、本市の名物を取り扱うテナントを集めなども面白いと思う。

(委員)

皆さんが個人的に行きたい国内での旅行先はどこか教えてほしい。

(高校生)

私は長野県や山梨県がいい。海のないところの自然を感じてみたい。

(高校生)

中学校の修学旅行で行ったが、やり残したことであるので、北海道の小樽市にもう一度行きたい。

(高校生)

私は沖縄がいい。来年、修学旅行で行く予定であるが、それとは別に友達とプライベートで行きたい。

(高校生)

小学生のときに大山に行ったことがあるが、天候が悪く星空が見えなかった。星がきれいに見えると思うので白川郷や東北地方に行きたい。

(高校生)

私は四国旅に出かけたい。四国水族館はインスタグラムやティックトックで一番映えているし、いろいろな名物がある。

(高校生)

私はスキーがすごく好きなので、雪質が良くて滑りやすい北海道がいい。御飯もとてもおいしい。

(高校生)

私も食事が充実している北海道に行きたい。

(高校生)

私は歴史が好きなので、京都には何回も行っているが飽きない。京都以外では、温泉街など非日常感のある町並みが好きだ。また、修学旅行で鹿児島に行ったが、指宿市は最果て感があつて良かった。

(高校生)

秘境と言われるような温泉地に行きたい。秘境の温泉地は、路線バスなどをいろいろ乗り換えていく必要があるが、それを調べる中で文化や背景も分かるので楽しい。また、海沿いの水族館も日本周辺に生息している生き物を間近で観察できるのでいいと思う。

(委員)

自然や文化、グルメ目的という意見が多かったと思う。本市にも自然と言えば、家島や夢前の雪彦山のほか、清流や温泉もある。

また、グルメについても姫路おでん以外においしいものはたくさんあるが、それが広く伝わらない。

有名なユーチューバーによるP R配信もされているが、実績に結びついていないところが辛いところだ。

夢前の奥にある木戸ダムでの遊泳、夕日がきれいでおいしい海鮮のある家島など、そのような情報を若い皆さんにティックトックやインスタグラムに投稿し

てほしいと思うが、さらに工夫があれば教えてほしい。

(高校生)

姫路市には、書写山圓教寺や日本玩具博物館など姫路城以外にも観光資源はたくさんあると思う。姫路城以外に行かないのは滞在する観光客が少ないのが原因だと思う。お勧めスポットを設けて、当該地の写真などをSNSに投稿すれば、お土産の商品券などがもらえるような企画があれば滞在者も増えると思う。

(委員)

姫路に住んでいる人に、まずは行ってほしいと思う。

(委員)

「このような学校給食を食べています」というような情報をどんどん若い方に投稿してもらえるとながっていくと思う。

私もユーチューブを見るが、姫路の食べ歩き動画が時々出てくる。大体が有名店であるが、若者が知っている穴場の店とかを投稿したほうがもっと面白くなると思う。

外国人観光客の安全を守るための防災については、日本が観光立国を目指すのであれば、もっと注力しないといけない分野だと思うし、本市も外国人観光客の誘致に力を入れるのであれば、皆さんの提案のような対応が必要だと思う。

災害警報などの放送に関する意見もあったが、防災無線が整備されていても、英語で放送される体制が整っていなければ役に立たないので、このようなところの改善から取り組んでいきたいと思う。

(高校生)

私は能登半島地震が発生した日、城崎温泉にいた。警報アラートや町内放送があったが、日本語だけの放送でやはり外国人は混乱していた。

そのときは、道端の店のかたが避難案内をしていたが、それを町ぐるみでできるようになればいいと思う。

(委員)

姫路おでんは、B-1グランプリでも市を挙げて盛り上げ、しろまるひめもプロデュースして全国発信したが、残念ながら最高位は4位ぐらいであったと思う。

先ほど提案があったように、姫路おでんのブームが再来すればうれしいが、もう少し裾野を広げて、姫路おでんだけでなく、全国に通用するような新しい特産品を若い世代のかたに作ってもらえばと思う。

防災を絡めた観光について、姫路競馬場の地下に洪水時の巨大調整池があるが、ほとんどの市民が見学したことのない施設だ。このようなところも観光地の1つとしてツアーに組み入れるといいと思う。

また、スマートフォンが普及しているので、もっと上手な活用によって、災害情報の周知を観光につなげていくことができないかと思う。何か意見があれば教えてほしい。

(高校生)

神戸市には、人と防災未来センターがあるが、観光資源としても成り立っている。姫路競馬場の調整池にもそのような施設を設置してみてはどうか。新設が困難であればイーグレひめじの中でもいいと思う。そのような施設を造ることで観光と防災をつなげることができるとと思う。

(高校生)

姫路市には観光大使がいるのか。

(委員)

確か100人ほど任命されていたと思う。

(委員)

若い人が知っているような著名人で言えば、N o v e l b r i g h t の竹中雄大さんやミルクボーイがいる。

ミルクボーイは、太陽公園や姫路セントラルパークに行った様子をユーチューブに上げてくれているし、竹中さんもユーチューブで、結構な数の動画を上げてくれている。ただし、ほかの観光大使が積極的にアピールしてくれているかどうかは分からぬ。

(委員長)

観光大使は、あまり活用できていないと思う。

(委員)

おでんの話に戻るが、おでんが晩御飯に出るとすれば何日続けて食べるのか。1日で終わりか。

(高校生)

2日ぐらいである。

(委員)

おでんの残りはどうするのか。

(高校生)

雑炊にする。

(高校生)

うどんを炊く。

(高校生)

お好み焼きの具材として入れる。

(委員)

私はお好み焼きに入れるのが一番だと思う。おでんで炊いた牛スジやコンニャクを使ったお好み焼きはすごくおいしい。もっとＳＮＳで発信しないといけないと思う。

(委員)

ショウガじょうゆを使ったおでん祭りを開催すれば、次の日はお好み焼きにしたらいいと思う。関西は粉モン文化であるし、余った具材を捨てないということはＳＤＧｓにもつながる。

(委員長)

賢明女子学院高等学校の説明の中で、外国人観光客は姫路城観光の後、どこに行くのかという質問があつたが、委員のほうで何か意見はあるか。

(委員)

関西国際空港に降りてから、神戸に行き、姫路城を見てからすぐに広島に移動し、そこで宿泊することが多いと聞く。これは九州から大阪に向かう逆パターンでも同じだ。本市の分析でもそのような結果が出てるので、本市に宿泊してもらえるよう夜のイベントも開催しているが、飲食店の閉まる時間が早すぎるという指摘も受けている。

(委員)

今年、2回ほど奈良市に行ったが、本市以上に外国人がたくさんいた。調べてみると、本市が年間約942万人の観光客が来て、そのうち18%程度が宿泊する。一方、奈良市は約1,220万人の観光客に対し、宿泊は約14%である。

個人旅行が主流となれば、滞在型への特化と、通過型であってもお金をたくさん落としてくれるような取組の両方を考えていく必要があると思う。

本市の飲食店は午後8時になると閉店するところが多いが、客もいないのに店も開けておくことはできないという店側の経営に関する事情もある。

(高校生)

姫路市と奈良市の類似点は、大阪までの距離が近いことであったり、中心駅の近くに有名な観光地が集まっていたりするところだ。京都は観光地が点在しているため、その点を比べると不利だと思う。

姫路市の宿泊施設はビジネスホテルが多いと思うが、市の中心地に高級旅館を誘致できればいいと思う。(委員長)

旅館は、日本文化を体現するので、価格帯の高い旅館の誘致もいい意見だと思う。通過型観光に対する意見があれば聞きたい。

(高校生)

広島や大阪、京都は、魅力的な観光地がたくさんある。そこと競うとなれば、ローカル感だけでなく、祭りで見られるような活発感や観光客に温かみを感じさせるようなアピールが必要だと思う。

(委員長)

京都や奈良のような古い歴史のある都市と比べると本市のプレゼンスは低いので、本市独自のローカル感を発信していくことも大事だと思う。

観光に関する意見も出尽くしたと思うが、時間があるので議員活動に対する質問や要望を受けたいと思う。それぞれの地元で議員と話をした人はいるのか。

(高校生)

昨年、姫路東高等学校で職業ガイダンスセミナーが開催され、市議会議員が来られた。

(高校生)

私は去年も座談会に参加させてもらった。

(委員長)

市議会議員は、地元で開催される行事などで、何となく会ったことがあるような感じだと思う。私も選挙に出るまで議員は身近な存在ではなく、何をしているか分からぬという感じであった。

(高校生)

私は相生市在住であるが、出馬されたかたは卓球のコーチだった。話をすると全然怖くないが、しゃべらずに横に来られると怖いイメージがある。

(委員)

議員は人柄や力を入れる分野も様々であるが、幅広い年代から意見を聞き、市政に反映させていくという点では同じ方向を向いている。私も子どもがいるが、どんどん成長していくので、高校生のような若い世代の意見は新鮮であり、座談会はすごくいい機会であると思っている。

(委員長)

本日の意見交換のとおり、議員は話しかけにくい存

在ではない。これからも毎年座談会を開催していきたいと思うが、機会があればぜひ身近にいる議員に質問や声掛けをしてもらいたいと思う。

予定の時間となったので座談会を終了する。

意見交換終了	11時36分
副委員長挨拶	11時36分
閉会	11時37分